

図 書 紹 介

健康的で快適な住環境をつくる

—住まいと暮らしのカレンダー—

著者：菊浦 吉蔵（㈱シー・アイ・シー顧問）

発売元：(株)オーム／〒101-8460 東京都千代田区神田錦 3-1／TEL03-3233-0641／

B 6 判／194 頁／価格 1500 円（税別）／2007 年 11 月 15 日発行

我々の住環境は、建築技術及びその関連業界の技術の進歩と普及により、ハード面では快適な住環境が得られようになったが、ソフト面ではカビ・ダニ・ゴキブリ・花粉症などにより健康被害などを招き、住環境を悪化させ、社会問題にまで発展している。

本書は、著者の 40 年にわたる健康被害要因排除の研究開発、豊富な工事実務経験、工事対策の調査診断などで得た事柄をもとにコンパクトにポイントを絞りわかりやすくまとめたもの(序文より)で、次の第 1～10 章により構成されている。

- 第 1 章 日本の気候の知識と予防対策
- 第 2 章 カビの知識と予防対策
- 第 3 章 結露の知識と予防対策
- 第 4 章 ダニの知識と予防対策
- 第 5 章 シックハウス症候群の知識と予防対策
- 第 6 章 アスベストの知識と予防対策
- 第 7 章 ゴキブリの知識と予防対策
- 第 8 章 花粉症の知識と予防対策
- 第 9 章 快適な住まい方の手引き
- 第 10 章 各月の快適な暮らし方

次に関連する第 1～4 章のサブタイトルを見ていくと、第 1 章は、日本の気象とカビ・結露発生のかかわり、日本の四季の気象状況、日本の雨季（前線帯）、日本の季節風、太陽高度と日射などで、日本の気候が居住空間や日常生活に大きな影響を与え、人間の健康を阻害し、カビ・結露・ダニ・ゴキブリなどの発生に大きく関与する日本の気候を知ることが防止対策につながると述べている。

第 2 章は、わが国のカビ発生環境、カビの有益性と有害性、居室内に発生したカビによる被害の分類、住まいのカビ発生の根拠、カビと結露の因果関係、住まいに繁殖するカビの種類、菌類と菌類の成長、カビ類の種類と病原性、カビによる病気（真菌症）、カビが

健康に与える影響などで、カビの発育に最も快適な環境にある日本の風土では、発育条件が整うといつどこでも繁殖するが、日常生活の気配りや気密住宅の正しい居住方法の工夫で、カビの発生を防止することができる」と解説している。

第3章は、結露の要因となる具体的な例、結露現象、結露はどうして起こるのか（メカニズム）、結露の種類、冬型結露、夏型結露、春秋型結露、建物内部の湿気の流れと熱の流れ、換気と暖房の役割と目安、各部位の結露原因と被害状況などで、結露が発生するところには必ずカビが発生することから結露防止対策が防カビ対策となると述べている。

第4章は、住まいのダニ、住まいのダニの発生条件、ダニの繁殖期と繁殖力、室内に生息する主なダニの生態、屋外から侵入する主なダニの生態(迷入種)、ダニによる病気、市販されている代表的な薬剤、ねずみに寄生するイエダニ防止のねずみ駆除方法などである。

終章には、快適に暮らすため各月ごとに「実践してほしい事柄」と「禁止してほしい事柄」を列記してある。

本書は、一般向け成書であるが、カビの知識と予防対策の第2章には、カビ類の種類と病原性などについての分かりやすい説明もあり、会員諸氏には知識の復習と整理のため一読して頂くとまた新たな発見もあるかも知れない。「カビは汚れではなく生き物」という説明には当たり前ではあるが、なんとなく納得した次第である。(学会事務局)